



この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。

菊花

植物名： キク科 キク
 学名： *Chrysanthemum morifolium*
 使用部位： 頭花
 食薬区分： 食

日本中南部・中国に広く分布する多年生草本。中国では2000年以上前からキクを薬用として栽培していた記録があり、現在でも中国各地に、菊花をお茶として飲む習慣や、菊を原料とする酒、菊花を用いた料理などがあります。また古くから薬枕のひとつとして枕の中に菊花をつめる習慣もあります。



伝統医学的使用法

視力改善

解熱・鎮痛

解毒

中薬大辞典 牧野和漢薬草大図鑑

文献報告

睡眠改善 ①

肝保護 ②

抗糖尿病 ③

①Evid. Based. Complement. Alternat. Med, 2011, 109164

②Food. Sci. Technol. Res, 2009, 15, 499-506

③日本栄養・食糧学会誌, 2008, 61, 265-7

① 睡眠改善

論文名 菊花エタノール抽出物のペンタバルビタール誘導睡眠行動の増加とCl⁻イオンチャネル活性化の関与
 Ethanol extract of the flower Chrysanthemum morifolium augments pentobarbital-induced sleep behaviors: Involvement of Cl⁻ channel activation

出典 Evid. Based. Complement. Alternat. Med, 2011, 109164

要約 菊花エタノール抽出物は、muscimolやGABA_A受容体アゴニストと同様に、pentobarbitalによる睡眠を延長した。また、pentobarbital投与時の睡眠行動を促進した。この睡眠行動の促進は、Cl⁻イオンチャネルの活性化によるものと推測される。

② 肝保護

論文名 食用菊花花弁に含まれるおもなフラボノイドの同定と、マウスにおける四塩化炭素誘導肝障害抑制作用
 Identification of major flavonoids in petals of edible Chrysanthemum flowers and their suppressive effect on carbon tetrachloride-induced liver injury in mice

出典 Food. Sci. Technol. Res, 2009, 15, 499-506

要約 四塩化炭素投与したマウスに、菊花花弁由来ルテオリンまたはルテオリン 7-O- (6'-O-マロニル)-グルコースを経口投与したところ、AST活性、ALT活性を抑制し、強い肝障害抑制作用を示した。また、これらの化合物は強いDPPHラジカル除去活性を示した。

取扱商品

原料	●	原体(ホール)
粉末	●	殺菌粉末
乾燥エキス	●	乾燥エキス

【色分け凡例】 ■強壯関連 ■脳機能関連 ■高齢者向け ■女性向け ■血流関連 ■メタボ対策 ■その他



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp